



防災カフェ



— 「自助」による備蓄 —

今月から、定期的に防災情報を発信しますので、災害への備えに役立ててください。

さて、皆さんは、災害に備えて備蓄をしていますか。災害時に「自助」として、食料品や懐中電灯など必要最低限の備蓄をしておくことは重要なことです。まずは、自分自身の身を守る「自助」、不足分を地域や周りと一緒に「共助」、行政の支援・援助である「公助」が一体となることで、被害を最小限に抑えられるといわれています。

備蓄品は、過去の災害の例から最低3日分は必要とされており、備蓄品を日常生活の中で定期的に使用し、使用した分を新たに補充して保管する「ローリングストック」が、食料品の廃棄を出さなくて済む方法として推奨されています。

なお、市のホームページには、ローリングストックのほか、市の備蓄品の整備状況など

を公開していますので、参考にしてください。

備えあれば憂いなしです。災害はいつ起こるかわかりません。いざという時のために、災害への備えを万全にしましょう。

○ホームページはこちらから

<https://www.city.ashibetsu.hokkaido.jp/docs/9514.html>



●詳細 危機対策係



緊急地震速報と連携した行動訓練を行います

11月5日(木)午前10時頃、緊急地震速報と連携した行動訓練を行います。

訓練当日は、登録制メールで緊急地震速報の訓練メールを配信し、市総合庁舎及び市保有施設等で地震の揺れか

ら身を守る行動訓練を行います。

※訓練は気象等の状況により中止になる場合があります。

●詳細 危機対策係

ご家庭でのストーブ 火災にご注意を

寒さが本格化するこれからの季節は、ストーブ等の暖房機器を使用する機会が増え、ストーブによる火災が増加します。

電気ストーブは、裸火を使っていない安心感や、給油等の手間がかからないことから、使用者の注意不足による火災が多く発生しています。

また、石油ストーブ、石油ファンヒーター等による火災も多く発生していますので、対策を再確認し、火災を防ぎましょう。

- ストーブ火災を防ぐポイント
- ① ストーブの周りは、常に整理整頓をする
- ② ストーブの近くでスプレーなどを使わない
- ③ 給油をする際にはストーブを切る
- ④ カートリッジタンクの口金はきちんと閉める
- ⑤ 布団、カーテン、ふすまなどの燃えやすい物のそばではストーブを使用しない
- ⑥ ストーブの近くに洗濯物などを干さない

●詳細 芦別消防署保安係
22・3106